

アセスメント(1) ことばの力の把握方法について

小島 祥美

東京外国語大学 准教授

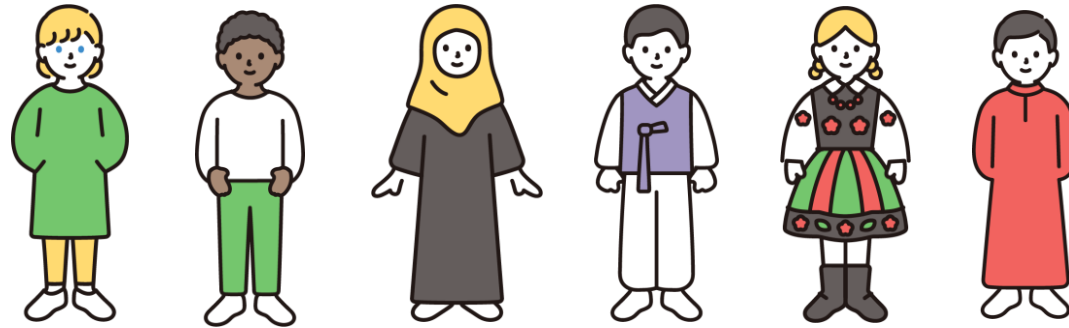
多言語多文化共生センター センター長

【発行】

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター

目の前にいる子どもを、
「日本語ができない子ども」
として見ますか。それとも、
「日本語も母語もできる可能性のある子ども」
として見ますか。

どちらの立場に立つかによって、
子どもの未来は180度ちがってきます。



出典／文部科学省（2025）

「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のためのことばの
発達と習得のものさし（ことばの力のものさし）実践ガイド」2頁

本研修の流れ

1. 「ことばの力のものさし」を学ぶ
2. 「公正さ」を支える理論を整理する
3. 対話型アセスメント「DLA」を活用する

ステップ

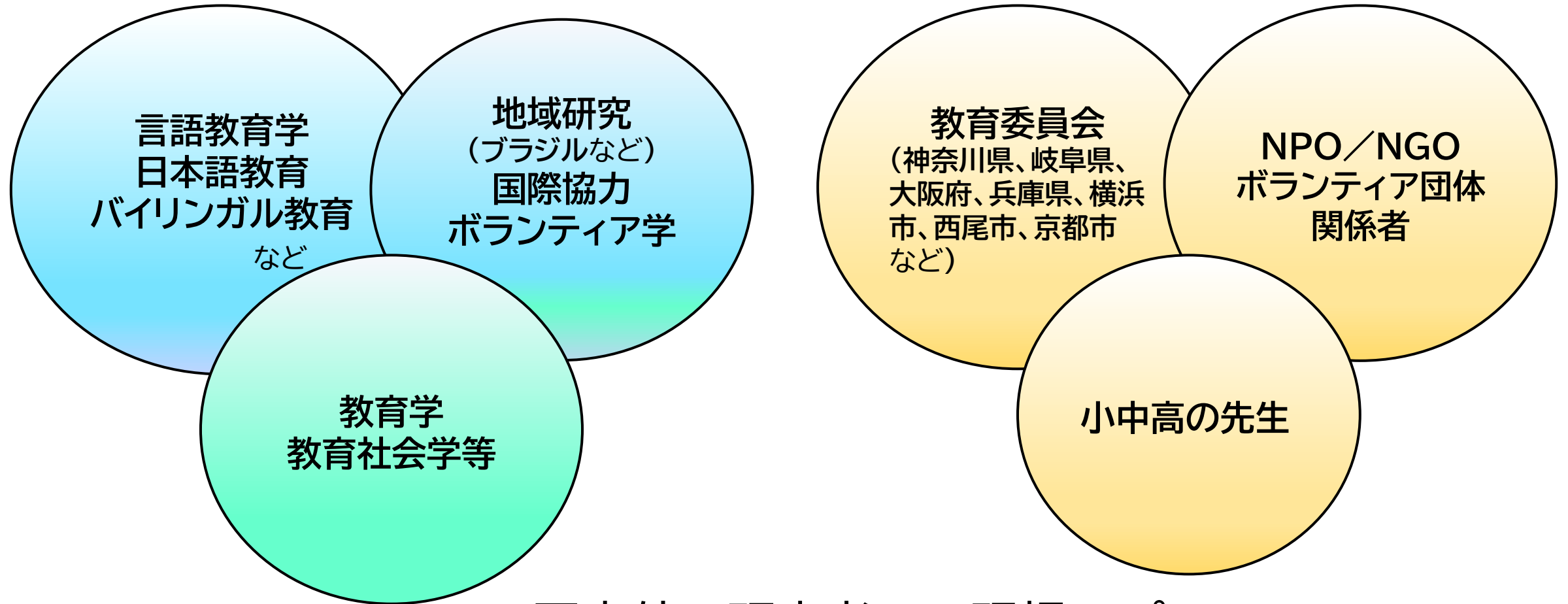
1. 「ことばの力のものさし」を学ぶ
2. 「公正さ」を支える理論を整理する
3. 対話型アセスメント「DLA」を活用する

個に応じた指導・支援のための 「評価の枠組み」



文部科学省 2025年4月発表

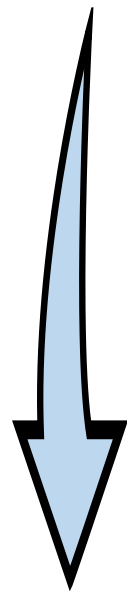
開発にあたって



国内外の研究者
学際的知見

現場のプロ
× 現役教員・指導者の知見

子どもが持つ
すべての力に光をあてる



「強み」がわかる

子どもも 先生も 輝く

文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための

ことばの発達と 習得のものさし

(ことばの力のものさし)

実践ガイド



私たちの作品は、世界地図上で各国の人々が手を繋いで幸せそうに笑っている様子です。
この作品を通じて、戦火や冷戦を超えた世界平和を願っています。人々が偏見や差別を
捨て、心から心へと交流し、この美しい世界で一緒に幸せに暮らすことを願っています。

第5章 実践編 小・中・高・NPO による30実践

文部科学省 2025年4月発表

目的

- ◆ 年齢に伴う認知的な発達を支えることばの力を捉えるため
- ◆ 個に応じた学習・指導計画を立てるため
- ◆ 子どもの多様な文化的・言語的背景を尊重し、可能性を最大限に引き出すため

対象

- ◆ 小学校～高校段階の子ども
- ◆ 一人でできることだけでなく、
支援を得て発揮できる最大限のことばの力
- ◆ ことばの力を2つの軸(マトリックス)で評価

思考・判断・表現を支える
包括的なことばの
発達ステージ

日本語固有の知識・技能の
習得ステップ

ステップ \ ステージ		A	B	C	D	E	F
8	書く						中3～高校 の目安
	読む						
	聞く・話す						
7	書く					小5～中2 の目安	
	読む						
	聞く・話す						
6	書く				小3～4 の目安		
	読む						
	聞く・話す						
5	書く			小1～2 の目安			
	読む						
	聞く・話す						
4	書く						
	読む						
	聞く・話す						
3	書く						
	読む						
	聞く・話す						
2	書く						
	読む						
	聞く・話す						
1	書く						
	読む						
	聞く・話す						

		A 【イマココ】 期	B 【イマココから 順序】期	C 【順序】期	D 【因果】期	E 【抽象】期	F 【評価・発展】 期
8	書く	母語で年齢相応のテキストを読み、的確に要約できる					
	読む						
	聞く・話す						
7	書く					年齢枠 の目安	
	読む						
	聞く・話す						
6	書く						
	読む						
	聞く・話す						
5	書く						
	読む						
	聞く・話す						
4	書く	日本語で、身近な基本的な既習の語彙・表現等を使って単文を書いたり、そのレベルのテキストを読んだりできる					
	読む						
	聞く・話す						
3	書く					目標	
	読む						
	聞く・話す						
2	書く						
	読む						
	聞く・話す						
1	書く	覚えたばかりの決まった形を使ってやりとりができる					
	読む						
	聞く・話す						

ブラジルにつながる中学2年生の ガブリエルさんのプロフィール

年齢：13歳7ヶ月

来日時期：13歳3ヶ月

滞日期間：4ヶ月

ことばの力：ポルトガル語 > 日本語

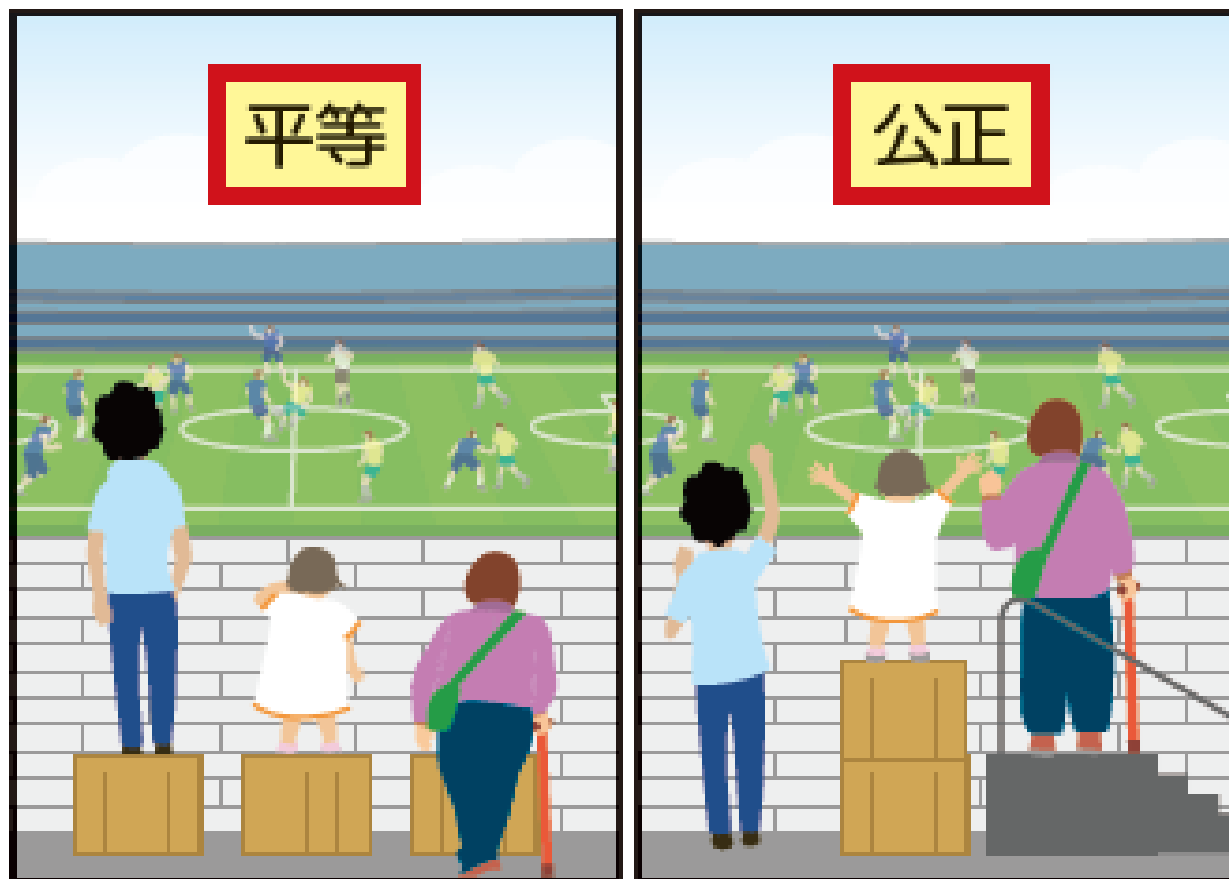
出典／文部科学省（2025）

「ことばの力のものさし実践ガイド」42頁

ステップ

1. 「ことばの力のものさし」を学ぶ
2. 「公正さ」を支える理論を整理する
3. 対話型アセスメント「DLA」を活用する

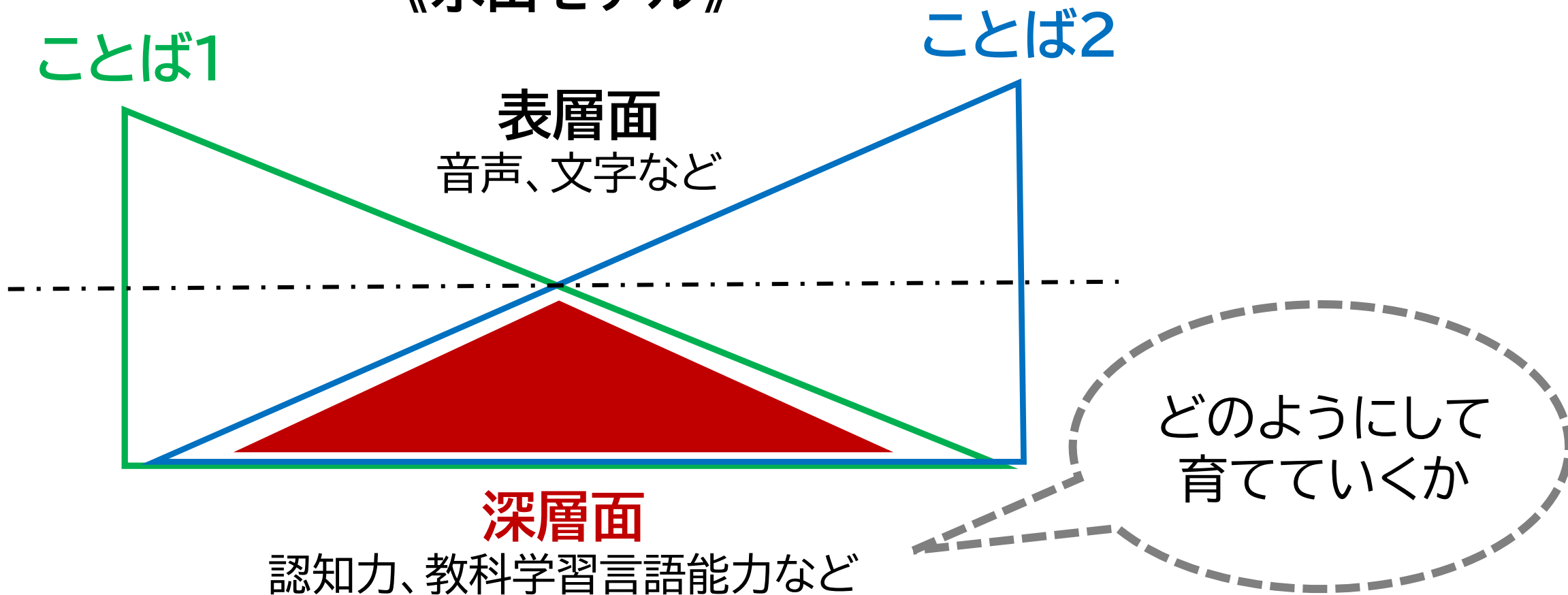
平等と公正の違い



【図 4- 4 平等と公正の違い】

理論① 二言語相互依存説

《冰山モデル》



理論② 子どもの言語能力の三側面

会話の流暢度

= 日常場面で話す力

- ・いつも使う簡単な文法や語彙
- ・母語の場合は5歳くらいまでに発達

習得:1-2年

弁別的言語能力

= 日本語のルール
(文字、音、文法知識)

- ・学習または実体験より習得

習得:2年くらい

教科学習言語能力

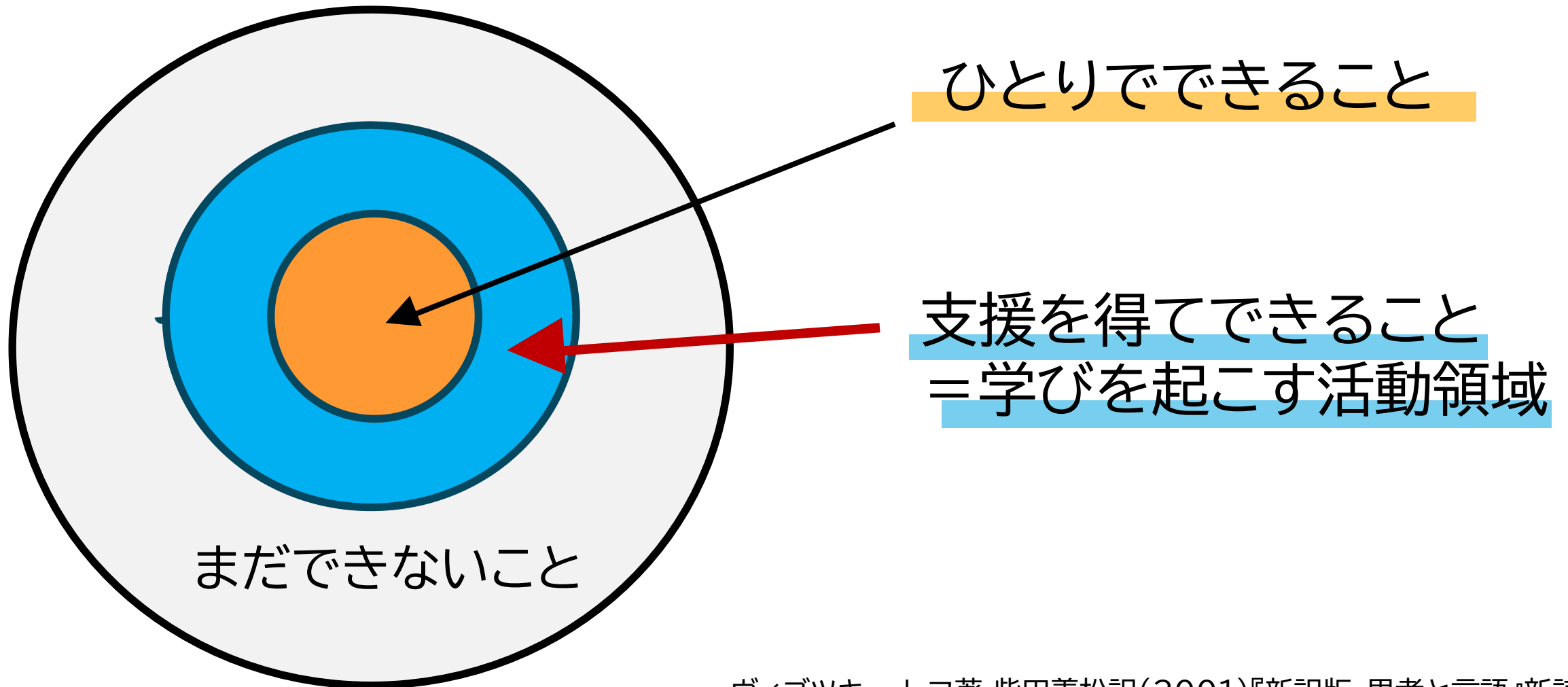
= 学年に応じた概念と言葉の
理解し使用する力

- ・日常会話ではほぼ聞かない
低頻度の語彙、複雑な構文、
抽象的な表現

習得:5年以上

理論③ 発達の最近接領

ZPD (Zone of Proximal Development)



ステップ

1. 「ことばの力のものさし」を学ぶ
2. 「公正さ」を支える理論を整理する
3. 対話型アセスメント「DLA」を活用する

文化的言語的に多様な背景を持つ
外国人児童生徒等のための対話型アセスメント

DLA

Dialogic Language Assessment
for Culturally and Linguistically Diverse Students



いえにはねがはえてそらを
とんでます。そらにおおきな
かいじゅうのかたちのくもが
フワフワとうごいてます。
きもちがいいな。

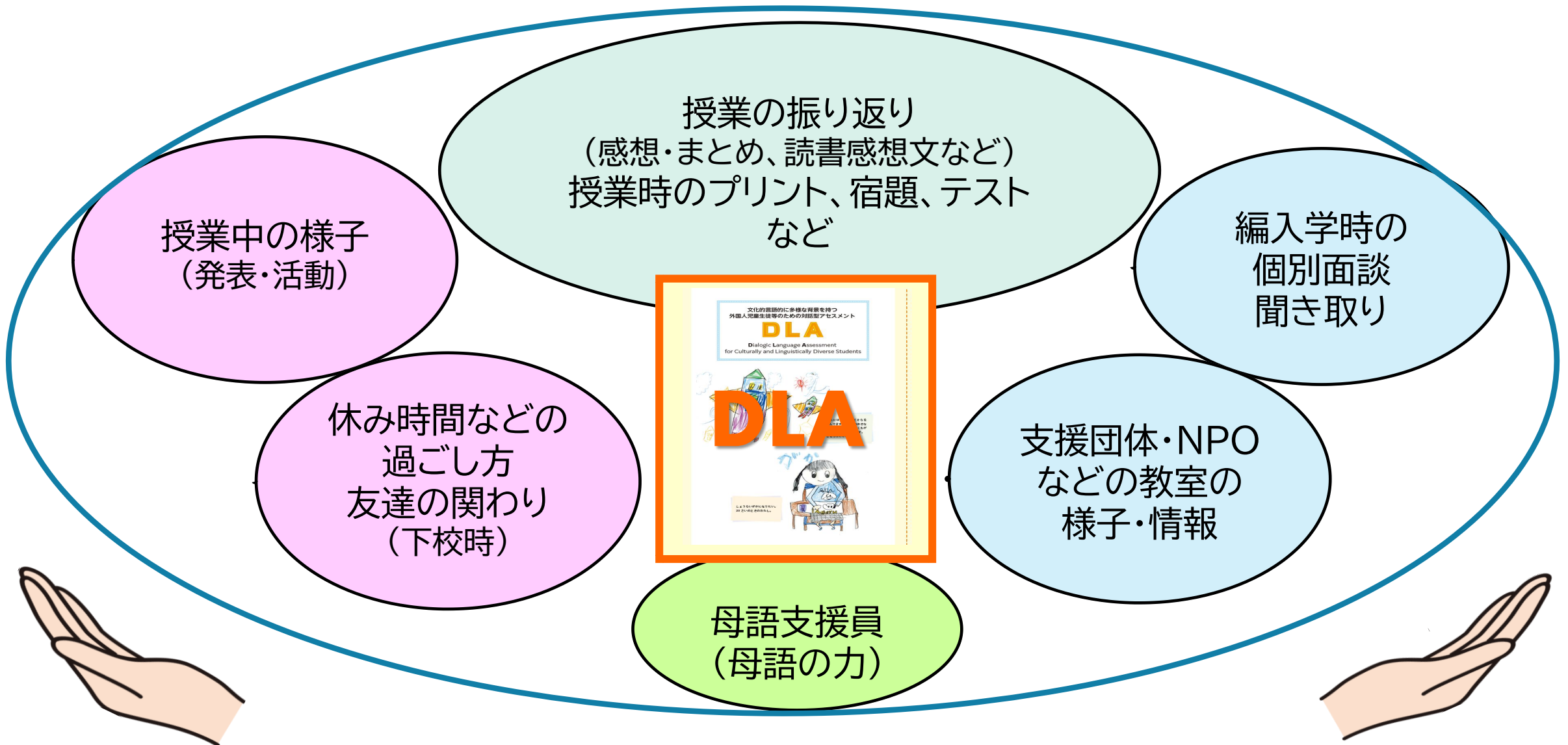


しょうらいがかになりたい。
20 さいのときのわたし。

Dialogic Language Assessment の略

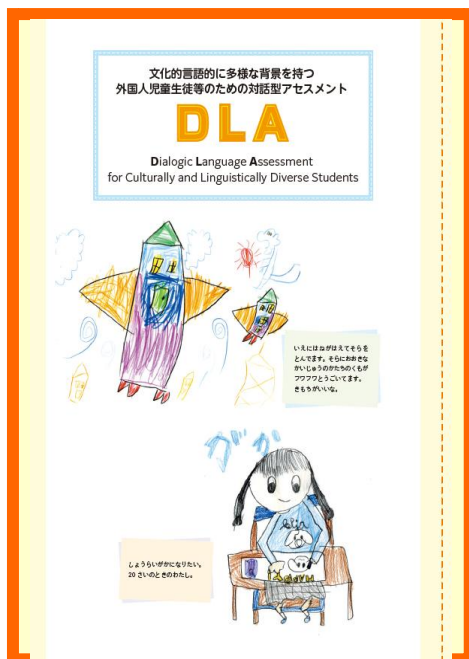
文部科学省 2025年4月発表

「ことばの力のものさし」を使った見取り



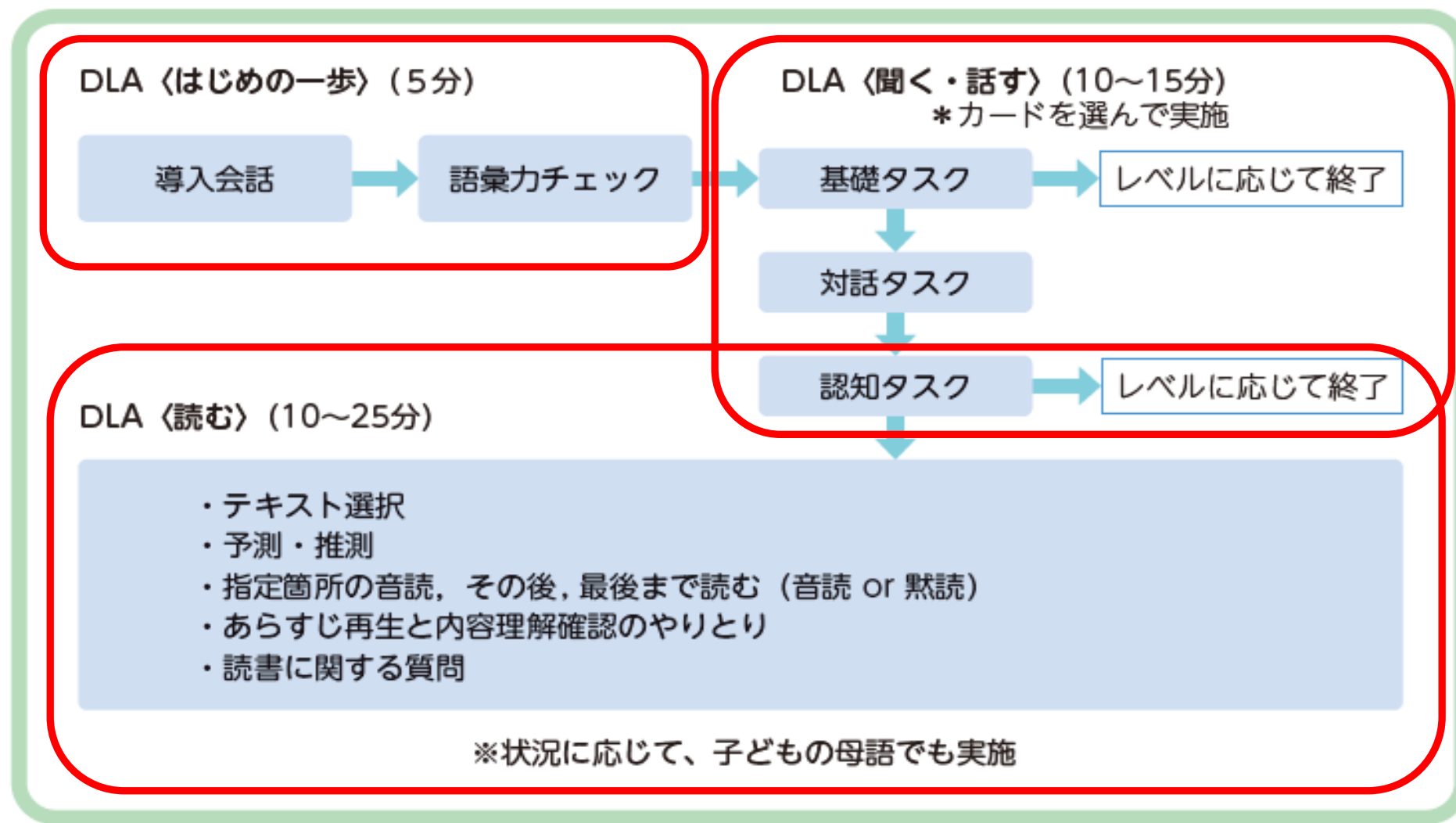
「ことばの力のものさし」 ＝実態を見取るための評価の枠組み

様々な見取り方の一つ



子どもの強み
(できる姿)が
見える！

DLA実施と評価フローチャート



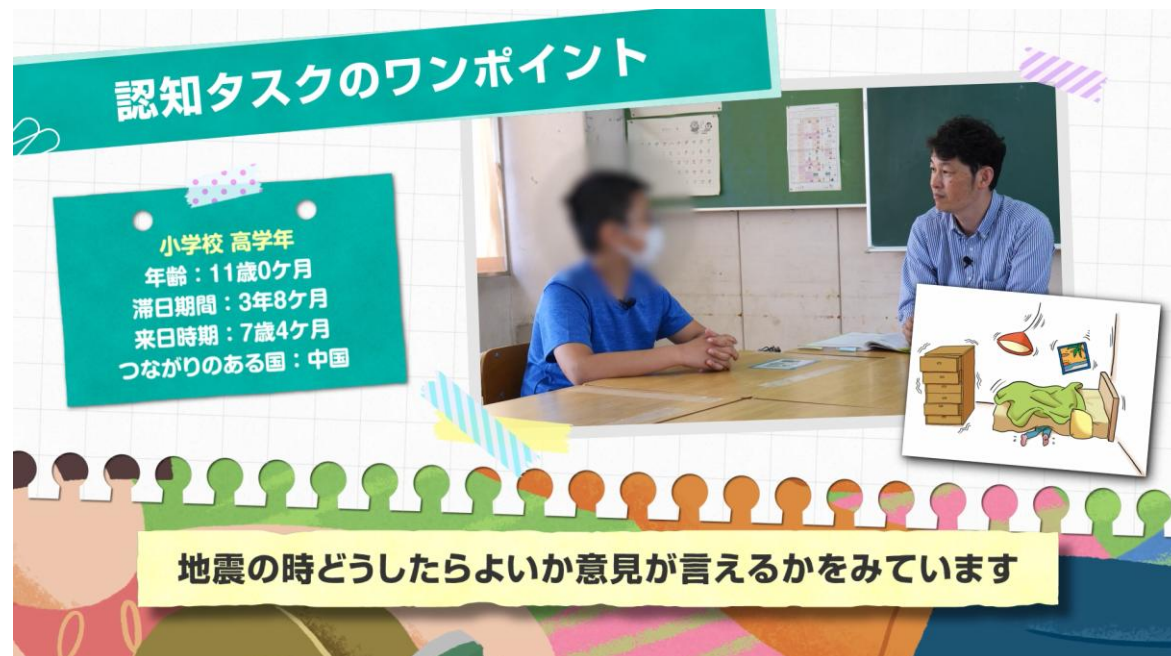
出典／文部科学省(2025)

「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための対話型アセスメントDLA」10頁

個に応じた指導・支援のための 「評価の枠組み」



2025年4月 文部科学省発表



ことばの力を引き出す
「技とコツ」を
わかりやすく解説

DLAワンポイントレッスン動画(2025年4月公開版)

DLAワンポイントレッスン動画



来日時期
滞日年数

成育歴



家族構成

公正な評価

ありがとうございました

